

たとえば /

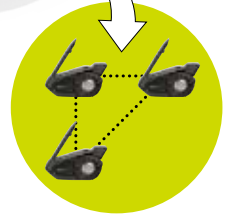
こんな使い方もあります



Bluetooth

## 10C PRO

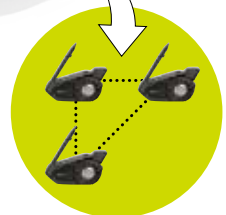
カメラ型インターコム10Cシリーズなら、走行動画面にインターコムの通話が録音可能だ。+MESHを介してメッシュネットワークに参加すれば、メッシュ・インターコム上の会話を10Cで録音することだってできる！



Bluetooth

## SRL / SRL2

SHOEIのNEOTECH IIやJ-Cruise II専用のインターコム「SRL/SRL2」。スマートにヘルメットに内蔵できるだけに、この形にこだわるライダーは少ない。そんなSRL/SRL2も、+MESHがあればメッシュ・インターコムに参加できる



ほかにも /

SMH10.5.3S  
SF Seriesでも  
利用可能です！



30K

30K

20S & +MESH

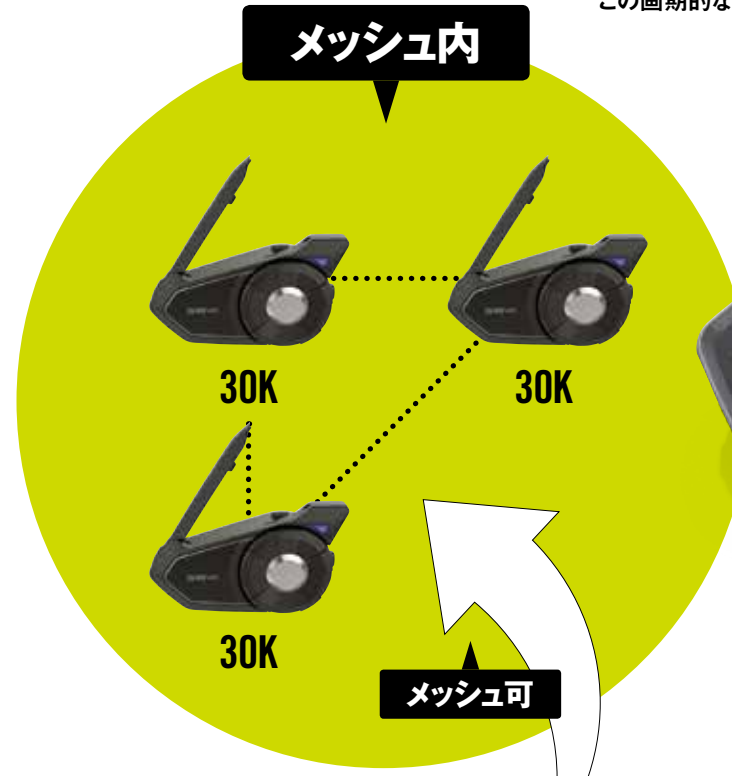
30K

メッシュに入り込むコレぞ必殺技

# セナ機能拡張術

セナ独自の次世代インターコム通信「セナ・メッシュ・インターコム」グループ接続の順番や操作といった煩わしさを一切省いた使い勝手が最大の魅力だ「+MESH」はそんなメッシュをセナ・インターコムユーザー誰もが使えるようにしたこの画期的な「中継器」のメリットを、編集部3人が実際に体験してみた！

文 / 八百山ゆーすけ  
問：セナBluetoothージャパン <https://senablueetooth.jp>



メッシュ内

30K

30K

30K

メッシュ可



## SENA +MESH

価格：1万4630円  
発売時期：2019年11月発売  
メインユニット：45mm 187mm x 26mm  
重量：60g  
MESH インターコム：通信距離800m  
連続通話時間：最長13時間  
バッテリー充電時間：約2時間

30K同士だけで利用できるセナ独自の「メッシュ・インターコム」のネットワークに参加できるアダプター。セナのBluetoothインターコムとこの+MESHをBluetoothで接続することにより、30Kのメッシュネットワークで通話できるようになる。操作はワンボタンで、メッシュネットワークには自動接続される。通信中に接続が切れても、通信圏内に入れば自動で再接続されるなど、簡単に使えるのが魅力だ。

【装着位置の目安】



無線を使うインターコムはアンテナの位置がとても大事。+MESHをポケットに入れて使うと、アンテナが身体に触れて電波の送受信に支障が出る。アンテナが周囲を見通せるハンドル周りなどに取り付けよう



20S

+MESH

+MESHはセナのBluetoothインターコムから見てインターコムという扱い。そのため事前にインターコムペアリングを行っておく

+MESHはBluetoothの多いインターコム通信とメッシュネットワークを橋渡しする中継器。この+MESHにBluetoothでセナのインターコムを接続すれば、+MESH経由で30Kのメッシュネットワークに参加できるようになる。今回はそんな+MESHのメリットを編集部で体験してみた。

中村と中島が30Kを使い、そこに20Sの大島が+MESHで参加する形でツーリングに出かけた。大島「あれ！ +MESHに私の20Sをつなげるだけで、中村さんと中島さんの声が聞こえる！」

中村「+MESHは公開モードでメッシュに参加するから、接続操作なんかもいらんだ。」

こうして走り出した3人。途中で一度大島が信号に引っかかり離れてしまったが、再び追いつくと自動的にグループに復帰した。大島「信号でお二人と離れてしまったのですが、中村さんや中島さんに近づくと、自然に二人の声が聞こえてくるんです。」

中島「自然につながるって、もはやインターコムを使っているという意識がなくていいよね。」

もはやメッシュとBluetoothという違いも意識する必要がなくなる+MESH。これからはBluetoothインターコムユーザー必携のアイテムだ。

インターコムユーザー必携のアイテムになる

セナ・インターコムのフラッグシップ「30K」に搭載されている「セナ・メッシュ・インターコム」は、次世代の通話システムだ。従来のインターコムに採用されてきた「Bluetooth」のような通信規格は、グループ通話の際に複数台を一本の「鎖」状に接続する。そのためグループ内の接続順が大事で、さらにこの鎖の途中のメンバーが通信圏外となると、鎖が切れるようにグループ通話ができなくなってしまう。

その点、セナ・メッシュ・インターコムは、「メッシュネットワーク」の文字通り、複数のインターコムが網の目のようにつながるため、事実上接続順を考えなくていい。さらにメンバーの誰かが通信圏外になっても、他のメンバー経由で通信が確保されるため、グループ通話が途切れることがない。

メッシュ・インターコムはこのようにメリットの多いインターコム通話システムだ。ただし、現在セナのラインナップでこれを利用できるのは30Kのみ。そこで、Bluetoothを採用する、従来のセナ・インターコムで、このメッシュ・インターコムを利用できるようにしたのが「+MESH」だ。